

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動



ブログ HP
メールは左記
を読み込んで
送信



インターンシップ好評

令和3年度予算の町田市の特徴

年度初めの本会議では、各会派の代表による質疑が行われました。幾人もの代表から出た言葉は、歳入：52億円減の636億円であるのに、歳出が一般会計1738億円、特別会計3003億円と過去最高になっているのはなぜか、さらに、起債高も過去最高になっていることを加えた議員もありました。行政の説明で、町田市の政策支出で、廃止から重点施策まであるように述べていましたが、廃止とされた事業が具体的に見えませんでした。*改めて、この事業名と内容を調べてみたいと思います。



この後方が、工芸美術館建設の予定場所

他方で、例の工芸美術館は「未来につながる事業という」ということで、40億円の支出が当てられています。他の多くの会派の代表からこの件に関する疑問が寄せられました。市長は工芸品のことが全く理解できず、若干の高価な壺や皿、あるいはガラス器を並べれば、見学者が列をなすと錯覚しているようです。現実には、町田市が所有する工芸品で、世界中の人が皆知っている作家の作品や、郷里にある伝統工芸の銘品は含まれておらず、観覧者が2回目の足を向けることはほとんど無いものと思われるものが陳列品となります。

建設委員会での請願審査と背景

建設常任委員会では、野津田公園の拡張、バラ園移転に関する審議を行いました。バラ園移転に反対する請願では、その提出者による意見陳述がありましたが、工事がすでに進行していることもあって、賛成少数で不採択と決しました。大多数の議員はその見解でした。

他方で、上記の請願と関連するもので、テニスコートの新設拡張工事の早期実現を求める請願は、(取り下げ見込みで)継続審査になりました。こちらは提出者の意見陳述はなく、行政担当はその請願に関して、「願意の実現性は無い」と説明を加えました。行政担当がこうした明白な言葉を使う例は珍しい例でした。その理由は、はっきりしています。その場所は、地元の方が経営する養鶏場も含んでおり、その場所を撤去、移転しない限り、テニスコートの建設はかなわないからです。前の議会で、その養鶏場の部分を野津田公園に取り込むことができた時期があったが、それを実行しなかった町田市の行政判断が間違っていたと説明されています。今となっては、市民の方が経営する養鶏場の継続が優先されるべきものです。その経営意思を無視したテニスコート建設は、容認されるべきではありません。



委員会の動画画像の一面を切り抜く画像

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 良識ある保守主義

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726



町田市議会議員

コロナ対策と町田市のワクチン接種計画

PCR検査では旭町体育館が使用されましたが、コロナのワクチン接種では、指定の診療機関(町田市が別途発表)のほか、公共施設の会場が全部で6か所指定され、下記の場所が公表されています。



接種会場の地域センターには、駐車場がある

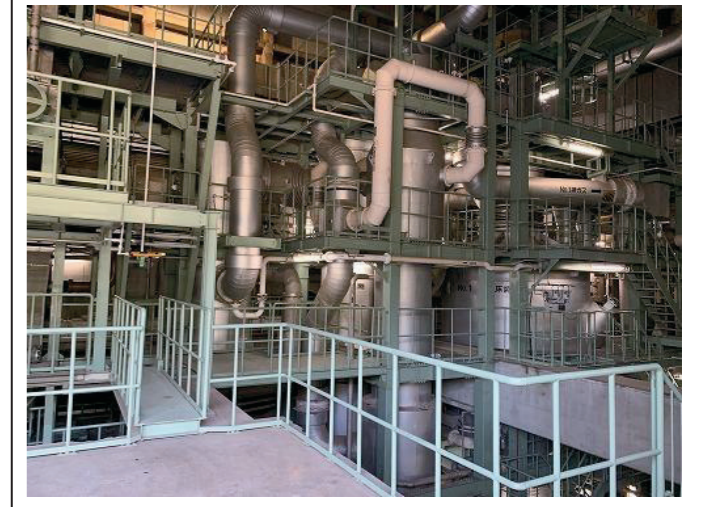
生涯学習センター(月曜日を除く、週6日)で、午前9時から午後9時まで実施。忠生、鶴川、堺、小山、成瀬コミュニティセンターでは、午前9時から午後6時までの時間帯で週2回を、2会場ごとで実施されます。ただし、休診時間が含まれています。また、生涯学習センターを除いた各地域センターは敷地内に所定の駐車場を持っており、車を使って訪れることが可能です。

年齢では、65歳以上の人は4月から、その他の人は、5月からの見込みですが、事前の準備が全て整っても、あくまで政府の企画供給量によって、各自治体の実施運用時期が決まります。この状況に関して、政府が連日メディア等を使って公報していますが、町田市は都度の状況をそのHPで発表する予定になっています。

クリーンセンターの設備更新予算と工事

下水処理場(成瀬クリーンセンター)では、家庭や事業所から排出された汚水を浄化してきれいな水にして河川に放流します。沈殿池に残った汚泥を集めて焼却し、焼却灰は外部施設に搬出され、資源リサイクル化されます。その工程施設を現場で見学させていただきました。

令和3年度の予算に、その焼却炉に高温に熱した空気を作り、送り込む装置(空気予熱器=直に空気を焼却炉に送り込む方法では熱効率が低いとの理由)部分を2年間で更新させる設備更新の事業費(2年間で最大、2億730万円)が入っており、それを直に確認するための現場視察です。この空気予熱器は工場での設備制作に1年、現場の据え付け工事に1年を要するとのことでした。この工事期間の中では、焼却炉の設備全体を稼働できない期間があり、その間は、もう1台の焼却炉や鶴見川クリーンセンターに汚泥を運び、焼却が行われます。クリーンセンターは、市民のライフラインの最終施設の一つです。



★支持政党なし・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp/> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ HP
メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

インターン体験記⑩-2 松村エミリ

ユーグレナ社長：出雲充さんインタビュー

現在、多くの企業が取り組むSDGs（2030年までの開発目標）の多くの項目に該当する働きをしているユーグレナに、「現代の会社」「ザ・ベンチャー企業」といった印象を強く受けました。最前線で最先端を追及されている姿に尊敬と共に刺激を受けましたし、おこがましくはありますが、かっこいいなと憧れました。

そして、出雲社長は吉田議員の元インターン生（第1期生の一人）で、私の立場から見ると、インターンの先輩になるのですが、こんな素晴らしい事業を行われている偉大な先輩のようになれる自信はありませんが、背中を追いかけられたらいいなと思いました。出雲社長は、吉田議員のインターン生時代を振り返り、吉田議員から未来の世代を応援してくれる大人がいることに勇気ももらったと語り、「大変な事や嫌なことを思うこともあるが、私たちのような存在を思いだしてほしい。」と熱いエールをくださいました。



ユーグレナ本社の面談スペースインタビュー



参考写真：ユーグレナが東大のベンチャー施設内あった時代に、当時大学1年生で参加した31期研修生を同行・見学

出雲社長自身、吉田議員に頂いたようなインパクトを次の世代の子に感じてほしいと、海外から日本に勉強に来る学生にインターンをおこなっているそうです。フランス大使館からの依頼を通じ、多くの学生は大企業にいきがちの中、ベンチャー企業として唯一行っており、毎年20~30人くるとのことです。COVID-19の影響により、2020年は半年間リモートで行ったとのことですが、受け入れるのが大変な反面、未来世代への投資も惜しまない姿に感銘を受けました。

最後に、特にこのご時世、出雲社長も仰っていた通り免疫力を高めることが大事ですが、ユーグレナには免疫力を高める効果があることを、「はたらく細胞」コラボの動画で分かりやすく伝えられていたので、私もユーグレナを飲んで体調管理に気を付けたいと思いました。（吉田注：松村さんの飲用に関する記述はCM的に見られるので、「個人の感想です」という表現を付記致します）

第45期研修生：松村エミリ（新大学1年生）

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。

町田市議会議員 **支持政党なし**

吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

タブレットのみでは会議参加に対応不可

町田市議会本会議で、市長の施政方針、それに、2021年度の予算案、多数の条例案の提案説明が行われました。私は補正予算の際の質疑でタブレットを持って、壇上に立ちましたが、発言予定の議案ページがずれ、質疑内容を把握できなくなりましたが、別途、メモで質疑項目名を記していたので、それを頼りに質疑を続け、（議会発言に関して、ノー原稿を基本としていることで）なんとか発言を終えました。自席から、本会議壇上に移動する間に、手の一部が触れ、質疑内容のページがずれて、元のページに戻ることに失敗したものです。*以前の会議でも、委員長報告者が、発言直前にタブレットのページがずれ、発言全部を紙原稿に切り替えて報告に切り替えた例がありました。

この日、市長は施政方針を読み上げましたが、全部がペーパーの原稿でした。その他の理事者、部長も同様でした。私の例から見て、それをタブレットで行うべきだとは主張できません。



委員会でも、パソコンとタブレットを併用

●現在、市議会は、本会議場と委員会室の双方の傍聴席での傍聴を認めず、モニター視聴になっています。次の定例会の際には、何らかの改善が必要だと思っています。

町田市議会
保守の会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学



町田市議会本会議場：天井ビデオカメラで撮影

自席にある時は、パソコンとタブレットの双方を置いています。理由は、単純です。資料を読んでいく時に、マウスを使って操作するのがはるかにスムーズだからです。例えば、副市長が行う手書きのペーパーに予算書の読み上げで、ある時は3-4ページ飛ばす時と、その10倍も飛ばす時、あるいは100ページも飛ばす時があります。読み上げる方は、シナリオを順に読むのですが、議場にいる議員にとっては、その言葉を追いかけるのは大変な作業であり、字面を追いかけるのは大変です。それをパソコンで行うと、キーボードの操作で非常にスムーズになります。私の場合には、そのスピードを担保するために、タブレットは議題を見るために、ほぼ毎回、横に置きました。ただし、記事の参考写真は常任委員会で討論中の写真です。

全国の議会では、会議の説明・発言がペーパーからタブレットに移行していますが、それより、はるかに早くパソコン持ちこみを認めていた町田市議会では、タブレット+パソコンを標準にしている議員が、2割以上います。先進的な議員は、パソコンのキーボードを使い、会議の発言の全文、大半を記録している様子が見えます。